

みはらのたから

三原で輝く若者たち

保育士や家庭科教員といったそれぞれの夢に向かい、学びを深める3人。先輩の姿に憧れ、介護技術を競う大会に挑戦し、県代表として7月に中国地区大会へ出場しました。相手の立場や背景に寄り添い、声かけや接し方を自分たちなりに考え実践するこの競技。介護には正解がなく観察力や臨機応変さが求められます。大会では、緊張や焦りがありましたが、休日にも励まし合って練習した仲間の支えが力になりました。

介護の学びで得た細やかな気配りと明るい声かけは、それぞれのめざす未来へ確かに繋がっています。

技術だけでなく気配りと
声かけで届ける私たちらしさ



明るく元気で

“がんばり屋”の3人



「3人は『もっとやってみたい!』という意欲のある生徒」だと教員の池上先生は話す。

広島県高校生介護技術
コンテスト 最優秀賞

広島県立総合技術高等学校
人間福祉科 3年

こなか みなみ
小中 海波さん
ひかり
原田 光彩さん
みう
中原 美海さん



事前に3人で課題を予想し、その予想が見事的中! 素早く対応し、成果につなげた。

